

6/13 木

オスプレイ配備一事強行

佐賀空港 市民団体など抗議行動

佐賀空港（佐賀市）の陸上自衛隊のオスプレイの配備に向け、防衛省は12日、空港西側に新たに建設する駐屯地の工事に着手しました。同日朝には、オスプレイ配備に反対する団体や市民が駐屯地予定地前で抗議



横断幕などを掲げ抗議する市民＝12日、佐賀市

行動をしました。

包みました。

午後3時半ごろ、工事の関係車両が次々と予定地に入り、工事工ア入り口に「立入禁止」の看板を掲げ、資材搬入をすすめました。パトカーが警戒のため多数走り回るなどものものしい雰囲気に

工事について防衛省は2021年6月末までに「オスプレイいいらしい」との横断幕をかげ、アピールしました。

工事などは「避けられない」との防衛局の回答に再度要請（9日）したばかりでした。

オスプレイ配備反対 佐賀県連絡会の池崎基子事務局長は「辻野古の座り込みのように今後もねばり強い抗議行動をしていく必要がある。自衛隊員がひじから出撃して、命を奪い、奪われることとなるのは絶対に許されません」と話しました。

日本共産党的武藤明美議は「防衛省の行った説明では不信が広

でござりましたため、

がるばかり。佐賀空港を軍事空港にさせないために頑張っていきた

い」と話しました。